

【開会 午後2時】

1 開 会

2 競輪事業部長挨拶

○三上部長 本日は皆様方におかれましては大変お忙しい中、ご出席を頂きましてありがとうございます。また、皆様には日頃より市営函館競輪場の運営にご理解とご協力を頂きまして、感謝申し上げます。

3月に入りバンクの雪解けも進み、4月16日の開幕戦に向けて準備が進んでいるところである。また、3月26日の新幹線開業まであと25日と迫り、洞爺丸事故を受け青函トンネルの建設計画から55年、悲願の開業となり、大変感慨深いものがある。

さて、先般、平成27年の全国の競輪売上が発表され、平成26年に続き対前年比101.5%と、2年連続で対前年を上回った。これは景気の回復、場外開催日数の増、ガールズケイリンやミッドナイト競輪の人気によるものと考えられるが、気を緩めることなく、さらに関係団体が一体となって事にあたっていきたいと思っている。

平成27年度の市営函館競輪は4月16日に開幕し、11月3日までの18節55日開催され、事故なく無事に終了することができた。ガールズケイリンは3回開催され、女性や若者の入場も増え今後期待しているところである。また、5年ぶりに開催した、GⅡサマーナイトフェスティバルも成功裡に終わり、3日間で40億7,080万円の売上があったことを受け、トータルでは198億476万4,200円を売り上げた。これにより、今年度の決算見込では公債費で2億7,660万6,000円を支出したうえで、さらに2億7千万円程度の3年連続の黒字が見込まれる。累積赤字については、現在5億2千万円程度のため、28年度当初では2億5千万円程度に減少し、28年度からの包括委託に係る収益保証が2億円あるため、平成29年度には累積赤字を解消し、本来の目的である市への財政貢献ができるものと考えている。

こうした累積赤字の解消、市への財政貢献の見込みが報告できることを

大変うれしく思うとともに、皆様に感謝したいと思う。

3 協議事項

(1) 平成27年度自転車競走事業特別会計補正予算(案)について

(資料(1)に基づき中村事業課長から説明)

○今井会長 質問等はないか。

(各委員：特になし)

(2) 平成28年度函館競輪上期開催日程(案)について

(資料(2)に基づき中村事業課長から説明)

○今井会長 質問等はないか。

(各委員：特になし)

(3) 平成28年度自転車競走事業特別会計予算(案)について

(資料(3)に基づき中村事業課長から説明)

○今井会長 質問等はないか。

○穴田委員 2億円の収益保証とはどういうものか？単年度で2億円保証されるという考え方でいいのか？

○中村課長 28年度から32年度の委託期間の中で単年度2億円の収益が保証されるということである。

○穴田委員 必ず2億円が入ってくるということか？

○中村課長 そうではなく、自転車競走事業特別会計の収支の黒字が2億円に満たない部分を補填するという考え方である。そのため、仮に今年度の見込みのように2億円以上の黒字がある場合は、補填はないことになる。

○穴田委員 他にこういった手法をとっている競輪場はあるか？

○中村課長 千葉や広島で行っていると聞いている。

○三上部長 最近は包括委託に限らず、指定管理者でもこういった流れになっており、以前は市から運営費用を業者に払っていたのが、最近は業者が利益の一部を市に支払うケースも増えてきている。

○中村課長 起債の償還額が平成29年度までは2億円以上となっている

が、それ以降は2千万円程度に減るため、このままの収支状況でいけば平成30年度以降は好転するものと思われる。そのため、契約の上では平成32年度までは2億円の収益保証がされることとなっているが、実際には平成30年度以降は収益保証の必要がなくなる可能性が高い。そのあたりは提案してきた業者も収支の推移を見込んでいるため、単純に毎年2億円を支払うという考えで提案しているわけではないと思っている。

- 今井会長 私も包括委託事業者の選定に関わっていたが、その時にあまり業者に任せっきりにするとノウハウをとられてしまうことを心配していた。難しいところではあるが、市のほうにも頑張ってもらいたい。
- 三上部長 施行者としても、収益保証されているから安心というふうには全く考えていない。しっかりと収益をあげていくことを考えていかないと、次回の包括委託事業者選定では他の事業者も我々のこの期間での取り組み方を見て判断していくわけで、常に先々のことを考え、もう一段階グレードアップした運営を進めていく必要があると考えている。

4 その他

- 今井会長 その他、事務局からお願いします。
- 中村課長 今回の資料の17～18ページに新聞記事を添付したが、今年4月より我々函館市競輪事業部と、地元の選手会北海道支部、包括委託事業者である日本トーターの三者が協力し、初の北海道登録のガールズケイリン選手の育成を目指す「ホワイトガールズプロジェクト」を立ち上げた。今年の秋の競輪学校受験合格を目指し、函館競輪場を使って選手会およびそのOBの指導のもと、練習していくこととなる。現在、愛知県の豊橋競輪場ではすでに取り組みが始まっており、競輪学校合格者を輩出している。

また、包括委託事業者のほうでデジタル化対応のため場内のテレビモニターの入替が進められ、サテライト松風では既に全てのテレビがデジタル化対応となっている。本場についても各階ごとに順次入替が進められてお

り、3月19日に全てのテレビの入替が完了する。来年度の開催からは、市営函館競輪と、デジタルに対応した競輪場の場外発売については今までより鮮明な映像でお客様にレースを楽しんでいただけることとなる。

最後に、本日配付したA3判の資料4枚は、競輪関係団体の概要と、これまでの競輪収益金の使途状況についてのものであり、収益の使途については昭和23年度から平成26年度までのものと、平成26年度単年度のもものが掲載されている。昭和23年度から平成26年度までの競輪の総売上は5兆4千5億円ほどとなっており、平成26年度単年度では総売上は6,159億円となっている。ツール・ド・北海道といった大会や公共的な事業に使われているのが現在まで5兆1千億円程度使われている。詳細については資料をご覧ください。

- 今井会長 質問等はないか。
- 穴田委員 ガールズケイリンの育成の方はもう締め切ったのか？
- 中村課長 今年度については締め切っており、3名の応募があった。1名は昨年受験し不合格だった方で、2名の方は新規の方である。
- 穴田委員 今は以前に比べて競輪学校受験の難易度が増していると聞いている。大変ではあると思う。
- 三上部長 北海道出身のガールズケイリン選手はすでにいるのだが、北海道登録にするとどうしても冬期間の練習の問題が出てくるため敬遠されがちであるようだ。この3名については、合格した場合、北海道所属になってもらうことを確約済みである。
- 今井会長 先ほどの資料にあった競輪収益金の使途などのデータはホームページなどで読むことはできるのか？
- 中村課長 函館市分については去年までの事業概要を函館市のホームページで公開しており、そちらで読むことができる。
- 今井会長 インターネット投票する方も増えているので、こういう資料もインターネットで公開するようになったほうがいいと思う。
- 今井会長 他に事務局からあるか。

- 中村課長 来年度から、他場のナイター開催も場外発売を始めることとした。これは、どれくらい売れるのか、収益が確保できるかといったことについての試行的意味合いでの発売となる。
- 穴田委員 現在の競輪事業部の職員数で対応できるのか？
- 中村課長 時間外が増えないように時差出勤などで対応する。
- 今井会長 日本トーターとしては売る機会が多くなるから賛成という考えなのか？
- 中村課長 日本トーターは場外発売の場合、売上に応じて定率で収入が入ってくるのに対して、従事員の給与などの固定費支出があるため、それを上回るだけの収入があるかを探りたいと考えている。
- また、他の競輪場でもサテライトだけではなく、本場での場外ナイター発売を進めてきている流れがあることも今回の函館競輪場での場外ナイター発売に踏み切った要因である。
- 佐藤委員 ガールズケイリンは一日何レースあるのか？
- 中村課長 一日2レースあり、第5～6レース目に組まれている。最終日の決勝は第8レースあたりになる。
- 穴田委員 千葉は競輪場を廃止すると聞いているが、包括委託をやっているのか？
- 三上部長 千葉市長はやめるという方向性でいるが、包括委託により収支が改善できるかを判断しているようである。
- 小笠原委員 資料を読むと去年は久しぶりに入場者数が増えているが、しばらくは減少が続いていた。最近りんりんと暁月めぐみさんのコラボを多く見かけるが、競馬場のようにファミリー層が入りやすい雰囲気とはなかなかいかないのか、ファミリーやカップルといった層の集客を増やす方策を何か考えているのか？
- 中村課長 3階の特別観覧席の一部を家族連れやカップル・女性だけのグループ向けに先着で招待しているが、来ていただくお客様が固定化されてしまっている傾向がある。

- 小笠原委員 女性だけだとなかなか1, 2階の無料席では落ち着かないかもしれないし, それは良いことだと思う。
- 中村課長 場内でしか周知していないことも固定化の原因かもしれないので, もう少し広く広報していきたい。
- 小笠原委員 りんりんというのは函館市のキャラクターなのか?
- 中村課長 函館競輪のキャラクターである。
- 小笠原委員 いろんなイベントに参加して, アピールして行ってほしい。
- 中村課長 先日の新幹線のイベントや新外環状線の開通式イベントにも参加している。出演料をとらないので, 特に道や市のイベントからはオファーを受けることがある。
- 木田委員 追加資料の年度別施行者収益金の使途状況についてだが, 元の資料の9ページにある競輪振興法人交付金, これは函館分だけだと思うが, この項目は追加資料でいうとどの項目にあたるのか?
- 三上部長 競輪振興法人交付金は, 各回の売上に応じて第1号~3号交付金として支払われるもので, 使途状況の表でいえば第1号交付金, 第2号交付金の項目にあたる。第1号交付金は自転車等機械工業振興に, 第2号交付金は体育・社会福祉等の振興にあてられるもので, 第3号交付金は競輪振興法人, つまりJKAの運営費用にあてられる。地方公共団体金融機構納付金というものもあるが, これは累積赤字がなく収支が黒字の場合に支出するものであり, 社会福祉などの目的に使われている。JKAの交付金は黒字赤字に関係なく, 回ごとの売上により支出する。
- 中村課長 追加資料の2ページの表では収益金の使途が図になっているが, 先ほどの追加資料の表とは全国の数字ではあるが合致するようになっている。
- 今井会長 使途状況に載っている対売上比の割合を使えば, だいたい函館だけの数字がわかると考えてよいか。
- 中村課長 第1号から第3号を合わせると競輪振興法人交付金はおおむね売上の1.9%くらいとされている。25年度でいうと函館で支払っ

た競輪振興法人交付金は2億7千6百万円ほどである。

- 鶴井委員 新幹線開業にあたって、新函館北斗駅から競輪場へのアクセスは何か考えているか？
- 三上部長 りんりんバスを開催時は2路線運行しているが、新幹線駅方面については通常開催では難しい。記念競輪や特別競輪であれば考える必要があるかもしれない。
- 今井会長 観光業界で温泉などのツアーに組み込んでもらうように要請できないか。
- 三上部長 J K Aのほうでもガイドブックを作成したり、日本トーターも力を入れているので、その中で観光課とのタイアップも考えてみたいと思う。人口減少の影響で入場者数も減っていくなか、一方、ネットでの購入が増えていることから、直接レースを見てもらえるよう工夫をしていきたい。
- 今井会長 函館競輪が観光の1つとなればそのために滞在するという人も増えてくるかもしれない。
- 三上部長 ギャンブルということで敬遠される面もあるが、積極的に広報していきたい。
- 穴田委員 東京五輪に向けての練習地として誘致する考えはないか？
- 中村課長 企画部と連携して誘致先の一つとしてもらっている。
- 穴田委員 バンクのほうはともかく、ロードのほうは警察との連携も必要でなかなか難しい部分があると思うが、それがクリアできれば函館は気候的に夏の大会の事前合宿としては適していると思う。
- 中村課長 企画部の担当課長から話を聴いたが、現在リオ五輪が近いため、それが終わらないと各国の合宿の担当者が動けないようである。もう少ししたら話の進展があると聞いた。
- 今井会長 他質問等はないか。

(各委員：特になし)

=以上をもって終了=